

青梅市社会教育委員会議 5 月定例会会議録

令和 4 年 5 月 1 7 日
2 0 1 会 議 室
出席者 委員 1 0 名
事務局 3 名

1 開 会

2 委嘱状交付

3 協議事項

(1) 役員を選出について

～全会一致で議長は宮野委員、副議長は吉野委員に決定～

【議長】これから 2 年間、皆さんとともに青梅の社会教育のために、尽力させていただきたいと思っておりますのでどうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【委員】一生懸命頑張るのでよろしくお願いします。

(2) 派遣委員の推薦について

(協議資料 1)

ア 青梅市美術館運営委員会委員

任期 令和 4 年 7 月 2 日～令和 4 年 1 0 月 6 日

【事務局】事務局から概要説明

～白井委員に決定～

イ 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員

任期 令和 4 年 5 月 1 4 日～令和 5 年 7 月 9 日

～鶴岡委員に決定～

ウ 青梅市スポーツ振興審議会委員

任期 令和 4 年 5 月 1 4 日～令和 6 年 5 月 1 3 日

～市川委員に決定～

(その他の派遣委員)

ア 青梅市生涯学習推進市民会議委員

栗原委員 任期 令和 2 年 1 0 月 1 日～令和 4 年 9 月 3 0 日

イ 青梅市図書館運営協議会委員

園田委員 任期 令和 3 年 1 0 月 1 日～令和 5 年 9 月 3 0 日

(2) 青梅市社会教育委員会議 4 月定例会会議録について

(協議資料 2)

【事務局】事務局から概要説明。

～承認～

(3) その他
特になし

2 報告事項

(1) 人事異動について

(報告資料1)

【事務局】社会教育課での異動があった。

(2) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

(報告資料2)

ア 日 時 令和4年4月23日(土)午後1時から
イ 場 所 府中市市民活動センタープラッツ バルトホール
ウ 内 容 表彰・議事・講演
エ 出席者 宮野議長、刀禰委員、神山委員、市川委員、園田委員
(オンライン) 吉野委員、山川委員
随行 事務局 土屋係長・田畑

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】定期総会では、都市社連協の前年度会長市として、議長をやらせてもらった。4年かけて準備をして、関東11都県の関東甲信越静社会教育研究大会を3多摩の力で開催することができ、事務局の方にお世話になりながら終えることができた。1年間の都市社連協の活動報告があり、無事終わった気がした。講演は、歴史を学んでいるようだった。社会教育の関わり方は、人と接して人と話をしてお互いが啓発されていく、その中でつながっていくことが基本かと。今、それができない状況下があることは大変つらいということなど、お話を聞かせていただいた。

【委員】コロナ禍の中で、対面でようやくできた。短い時間の中で、中身の濃い内容だった。講演は、多岐にわたっていて、社会教育の現状を示唆されて、わかりやすい説明だったので、色々な委員も理解されたと思っている。大会の表彰は、園田委員、栗原委員が功労賞を表彰された。今までのご経験を功労という形で、他の委員等の活動にも生かされるだろう。名前も記録に残る。いい会であった。

【委員】来賓の挨拶の中で、6名のうち、5名が女性という話がでて、いい傾向であると思った。表彰は18名のうち8名の出席だった。議事は、宮野議長が進行し、スムーズであった。講演では、集う場、学ぶ場、つながる場が公民館であるが、活動の形がマイクロ化・多様化し、小さなコミュニティとして、孤独や孤立状態の人が増えないためにも、居場所や対話、サードプレイスが重要というお話があった。

【委員】表彰ありがとうございました。講演は、公民館の重要性、コミュニティの重要性を感じた。私の出身は熊本で、公民館ができた時は盛んであったが、今はどのような状況であろうかと故郷を思い返してしまった。勉強になる内容であった。

【委員】オンラインで参加したが、時々マイクが途切れ途切れであった。マイクが直接ネットにつながっていればいいのかと思った。公民館の歴史をお話されていたが、役割として地域の団体やクラブに属し、実践教とか相互教育とかが公民館教育の特徴というお話をされていて、分かりやすかった。学校教育はシステムチックな活動である一方、社会教育は機能的な活動というお話をしていただいて、公民館、青梅でいえば市民センターに、色々な団体で集ってきている方がいるので、新町地区の状況しかわからないが、活発に活動していると思った。また、第2層協議体は、今まで新町では立ち上がっていなかったが、先週から立ち上がって、高齢者もこぼすことなく吸い上げるということを、これからやっていく。市民センターを活用し、社会教育と絡めてうまいアイデアができればいいと思っている。

(3) 令和4年度全国社会教育委員連合表彰候補者の推薦について

(報告資料3)

【事務局】事務局から概要説明。青梅市は推薦者なしで報告した。

(4) 生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭 2022 の開催結果について

(報告資料4)

【事務局】事務局から概要説明。3年ぶりに開催した。今回、はじめてネットたまぐーセンターと釜の淵公園を巡回バスで結んで実施した。新型コロナウイルス対策のため、飲食は行わず、受付で消毒等の対策を行いながら実施した。

【委員】3年ぶりの開催ができた。釜の淵市民館が閉館し、今まで公園広場と市民館を橋で行ったり来たりして、お互いの場所のイベントの手伝いや見ることができたが、歩いていける距離ではなくなった。巡回バスもあるがなかなか他の会場に行くことができず、ネットたまぐーセンターに2日間いた。初日午前中の天候がよくなり、いくつか中止となったが、大勢の方に来ていただいた。今後の開催について、2会場離れているので、なんとかならないかと思う。新緑祭なので、緑の中でやりたい。将来的なことを考えると、今後新しい文化センターができるようなので、考えていければ。概ね来場者には、好評だったようである。

【議長】コロナ禍でも、多くの方が来場された。郷土博物館は使えないのか。

【事務局】宮崎家は使った。前回までは使っていたが、手狭な部分があるので、公園広場から郷土博物館までの距離も少しあるので使わなかった。

【議長】釜の淵はテレビに出るほどいいところ。色々整備して楽しめるところになればいいと思う。

(5) 生涯学習事業実施予定・結果

(報告資料5)

【事務局】事務局から概要説明。6月1日にウクライナ支援チャリティーピアノコンサートを委員の紹介で開催する。ネーミングライセンスを活用して、6月に市民映画会を開催する。

【委員】今、子どもと関わる仕事をしていて、デリケートな問題ではあるが、今のロシアとウクライナの状況について、大人の立場として、どちらの立場に非常に加担するのかという説明をすることが難しかった。また、最近はニュースに流れる場面が選択されてきて、あまり子どもが見る時間に戦争の場面はなかったが、小学3年生のお子さんをもつお母さんから、お子さんが「日本でも戦争起きるの？」と聞かれたことに対し、説明できないから一緒に調べようとしてご家族で調べたとのこと。どちらが悪いのかということをお言葉で言っているのだからということについて、いじめの問題と一緒に、一緒に考えようとなげかけできる大人でありたいと思う。純粋に子どもからロシア支援のものもあるのと聞かれたときに、なんて答えようかと思った。どちらかを支援するのではなく、平和を願うということをお大人が全面に出していった方がいいのではないかと。最近、若いお母さんがそういった話をする人が多い。ネットたまぐーセンターの1階に、こいのぼりに気持ちをのせてということ、子どもたちが願いを書いたり、今思っていることを書いたものがあるが、早く終わってほしいと書いている子どももいる。子どもに答えられるような提供の方法を考えていく必要、聞かれた時に答えられる準備・材料がほしい。

【事務局】あくまでも、人道支援ということで、家が壊れている、失っている等の状況について支援したいと考えている。ご理解いただきたい。

【議長】新聞に八王子でも開催された記事が載っていた。沖縄返還50年ということもあったが、そのようなときの心の傷を感じる感じ方は同じようなものだと思う。あってはならないと思うけど。平和を希求することが共通の尺度。難しい。素直に人道支援として聞きに行っていたらいい。

(6) その他

【事務局】その他の配布物について説明。

4 その他

【事務局】東京都社会教育委員連絡協議会の年間予定、定例会の年間予定について説明。

次回定例会

6月21日(火)